

# KOMAZAWA UNIV.



**CLUB DATA**  
 [創立] 1931年  
 [練習場] 二子玉川グラウンド  
 ※◆東急新玉川線「二子玉川」下車。改札を出て左、バス「砧(きめた)本村行き」(高島屋前・2番乗り場) 終点下車、徒歩1分。発車間隔は15~20分、乗車時間15~30分。渋滞状況により時間は変動。バス停を降りると目の前が駒澤大学。  
 [監督] 秋田浩一  
 [過去6年間の主な獲得タイトル]  
 関東大学リーグ優勝(02、03)、  
 関東選手権優勝(97)、全日本大学サッカー選手権優勝(97、01)、  
 総理大臣杯優勝(97、02、03、04)

## 4年生最後の大会、3年ぶりの栄冠を目指す!

**キャプテン鈴木祐が骨折!  
予選リーグは絶望!!**

**関東王者筑波大に敵なし!?**  
A7ロック

筑波大学、立命館大学、札幌大学、広島修道大学



筑波大学 藤本 淳吾 (3年・MF)

**展望**

やはりこのブロックは筑波大を中心とした戦いとなるだろう。カンカレではまさかの敗退で夏の総理大臣杯に出場することができなかっただけに今年初の全国タイトル&インカレ3連覇で今シーズンをAにかかるとは強い。

昨年は前人未踏の3冠まであと1勝のところまでライバル筑波大に優勝杯を持って行かれてしまった駒大。今年はリーグ戦の雪辱を晴らすべく打倒筑波、流経大を掲げインカレに望む。

今年度から予選リーグが設けられ試合数増加、過密日程などハードな戦いが予想されるが駒大の厚い選手層があれば問題はないだろう。しかし、精神的支柱のキャプテン鈴木祐が足を骨折という新たな問題が発生。怪我の詳細はまだ分からないが復帰は、早くても決勝トーナメント以降とのこと。果たして決勝の舞台で国立で勝利し、鈴木祐の胴上げで4年生を笑顔で有終の美を飾れることができるのだろうか。

### 昨年決勝でレイバック

駒 大0-1 筑波大●



立ち上がり一進一退の攻防が続く中、フリーでボールを受けた筑波大兵働が駒大DFラインの裏へ、そこへ抜け出した藤本がゴール右隅へ決め先制。後半開始早々スローインから赤嶺が競り、筑波、小林亮と渡り最後は原がシュートしネットを揺らすもこれはオフサイドの判定。終了間際にはPKのチャンスを得るも橋本が外してしまい万事休す。筑波大が2年連続8度目の栄冠に輝いた。

ポジション	選手名(学年)	身長・体重	前所属
GK	牧野利昭③	181/78	西武台
	太 洋④	186/78	市原Y
	三栗実士④	180/77	鹿島Y
	浦原圭一郎④	179/72	駒大高
	桑原 靖③	178/63	清水商業
DF	小林 亮④	170/64	武南
	鈴木祐輔④	174/70	武南
	筑城和人②	168/65	清水商業
	廣井友信②	175/66	前橋育英
	桐原聡太郎④	185/76	鹿児島実業
	大澤陽介④	178/68	千葉敬愛
	松村竜祐③	177/73	駒大高
	石井晃一③	170/70	市原ユース
	菊地光将①	182/72	浦和東
	塚本泰史①	176/65	浦和東
MF	中後雅喜④	176/70	市原ユース
	井邑太一④	178/67	長崎北陽台
	中嶋裕太④	175/60	四日市中央工業
	岩本哲也④	171/63	市立船橋
	小林竜樹①	162/56	前橋育英
宮崎大志郎③	172/65	大津	
八角剛史①	174/68	市原ユース	
最上大輝③	170/63	浦和Y	
小野里銀児①	168/62	総和	
赤尾直和③	170/62	駒大高	
新川真之介②	167/63	東福岡	
大瀬良直人④	170/60	大津	
相山泰紀④	177/70	葦崎	
笹岡新伍③	163/48	浦和南	
FW	赤嶺真吾③	178/70	鹿児島実業
	関 光博④	173/67	國學院久我山
	巻 佑樹②	180/70	国見
	原 一樹②	171/58	市立船橋
	鈴木亮平③	177/68	丸岡
	東平大祐①	178/68	丸岡
	田谷高浩①	172/63	境
宮田 潤②	180/70	F C東京Y	

~昨年のインカレ戦績~

1回戦	松山大 ●8-0	原、赤嶺3、橋本、中後、中田、大瀬良
2回戦	浜松大 ●2-0	中後、橋本
準々決勝	福岡大 ●5-0	赤嶺3、橋本、熊崎
準決勝	流経大 ●2-1	中後、小林亮
決勝	筑波大 ○0-1	